

静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡聾学校）



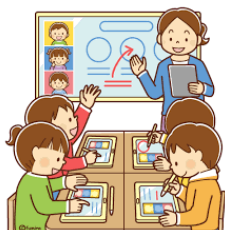
学校だより



令和4年度第22号（令和5年2月17日発行）

年明けから大寒波で寒い日が続いていましたが、立春が過ぎ、寒さが和らぎはじめ、少しずつ温かい春に向かっていくのを感じます。

幼稚部の子供たちは、1月26日（木）に「富士山こどもの国」に出かけ、親子で「雪あそび」を楽しみました。普段なかなか経験できない真っ白な雪に触れ、雪投げをしたり、ソリ滑りをしたりして楽しい時間を過ごしました。また、2月3日の節分には、豆まきも行いました。年間をとおして季節の行事を体験し、子供たちの心と体は、大きく成長しています。



小学部と中学部の児童生徒は、今年度はタブレットやデジタル教科書を使った学習が増え、学び方が大きく変わりつつあります。3学期も残すところ1カ月となり、3学期まとめの学習と進級や卒業に向けた学習に取り組んでいます。



◆ろうきん寄贈図書 寄贈式

1月27日（金）に静岡県労働金庫様より、「ロッキブックス」の寄贈がありました。本校の乳幼児教室や幼稚部、小学部、中学部の幼児児童生徒が親しめる15冊の図書を寄贈していただき、本校で行われた寄贈式には、本校代表として中学部生徒2人が、静岡県労働金庫理事長様から「ロッキブックス」を受け取りました。また、労働金庫の方々には、本校の図書室や図書コーナーも見学していただきました。



本校の子供たちは本が大好きです。早速、いただいた本を図書室で借りて読む子供たちの姿がみられました。

◆スズキ教育文化財団 寄贈式

スズキ教育文化財団様より、「特別支援学校児童生徒への支援事業」として静岡県内特別支援学校に教材等の寄贈がありました。

寄贈式は、2月16日（木）に浜松スズキ歴史館で行われ、PTA会長大橋様と校長が出席しました。寄贈いただいたオージオメーターは、今後の聴力測定で、子供たちのために大事に活用します。



校長 松本仁美